

ペン・ネット付け句（令和2年6月）



会場の都合により4月よりネット付け句会を開催中。今月
は新田さんの出題で、登山道で撮った老木の洞の写真です。

寸評：

1) 山姥の逆鱗に触れ樹と化せり 松田 昌康

・山姥に痛めつけられた姿の実感が出ている。(長尾)

- ・良くこんな樹を見付けられました。(下山)
- ・山姥に出会い、犠牲となったという視点が面白い。(中村)

2) 木に化けて睨み利かせる森の神 長尾 進一郎

- ・森の神が森の平和を願い、護っていることに納得。(清水)
- ・老木が森に睨みを利かせているという上手い表現。(下山)
- ・大森林の中の建造物的存在の巨木を森の神の化身と表現した点が巧い。(安藤)

3) 誰か来るマスクが無いわどうしよう 池田 隆

- ・老樹を女性に見立て、最近のみだしなみになっているマスクを付けてないことに慌てる。揶揄が利いている。(大月)
- ・文句なく面白い(新田)
- ・発想が面白くて真っ先に選びました。(三春)
- ・今やマスク無しでは過ごせない状況を上手く詠んでいる。(清水)

4) ムンクとな? 節穴だねえ君の目は 三 春

- ・確かに「ムンクの叫び」を髣髴させます。(下山)
- ・樹が言っているのか、見る人が言っているのか、どちらにも使えるセリフになっている(長尾)
- ・「ムンクの叫び」を思わせる節穴に、本質を見ていないと言う意味の節穴を掛けているところが良い(松田)

5) ギョツとする鏡に映る吾を見て 池田 隆

- ・ムンクとか、山姥とかの類想を超えている。自分自身に驚くという現実感溢れる句になった。(中村)
- ・美しい自然を象徴する森の風景を背景に、艱難辛苦の人生が凝縮した自らの容貌に気づき絶句する。(安藤)
- ・誰でもが思いつきそうなネタですが、まあいいかなと。
(三春)

6) ヤッホーとこだまを返す森の精 松田 昌康

- 素直で本当に声が聞こえてくるようです。(大越)
- 聞える度にヤッホーと呼び返す律儀な森の精だ。(長尾)

以 上